

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

十三小学校

児童数

32

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.00	19.16	31.42	46.16	58.89	9.41	149.58	23.79	55.21
大阪市	16.48	19.16	32.16	38.84	48.29	9.39	147.79	22.76	52.23
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	17.46	13.23	36.46	42.46	37.38	9.89	144.00	13.62	53.31
大阪市	16.06	17.79	36.86	36.98	37.66	9.66	140.64	13.79	53.50
全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

結果の概要

男子・女子共に握力と反復横とびでよい結果が出ている。体力合計点に表れているように、一般的に、男子は平均値が高く女子は低い。男女差が大きい。男女共に長座体前屈に課題が見られ、続いて上体起こし、50m走、立ち幅とびに努力を要する。特に、女子の上体起こしは、全国や大阪市の平均と大きくかけ離れており、腹筋持久力に課題が見られる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

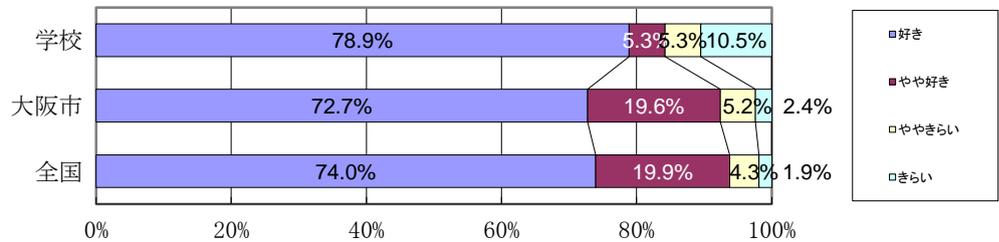
持久力の強化を図るために、体育朝会でマラソンをしたりフープの日やなわとびの日、なわとび週間等を設定したりして、いろいろな運動に親しめるように工夫して取組を継続してきた。放課後や休み時間などでも、ドッチボールをしたりサッカーをしたりする子どもの姿が増えてきている。年度初めから20mシャトルランの記録の向上をめざし、かけ足デーやなわとびの日、なわとびチャレンジ週間等に取り組んできた結果、昨年度より男子は大幅な向上が見られ、全国平均をはるかにこえた。一方、女子は、昨年度は平均を上回っていたが、今年は大阪市の平均にも届かなかった。持久力を高める運動を中心にして、運動の日常化、特化した取組(強調週間等)、体育学習時での工夫、行事としての設定、校内環境の見直し、ワークシート等の工夫など、さまざまな方策を考えて、学年の発達段階に応じて体力が高まるように計画していきたい。また、適宜、スポーツテストを行い、実態を把握するとともに、子どもにも、個人カルテのようなものを持たせて、体力向上や健康面での取組について、意識させたいと考える。さらに、評価にも工夫を加え、自己評価・相互評価、表彰など、多方面からの働きかけを意図的に行っていきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

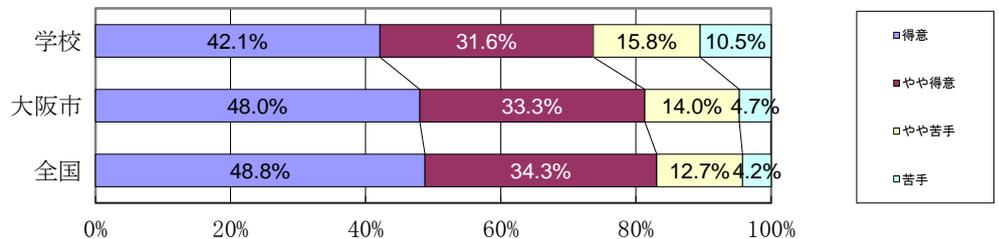
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



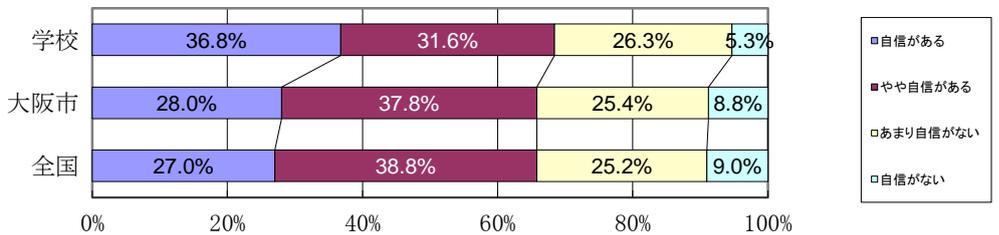
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



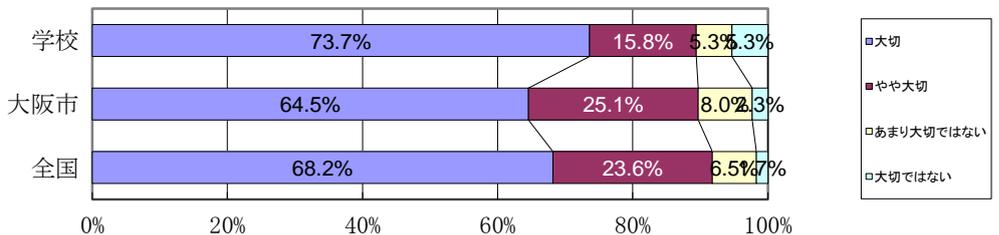
3

自分の体力に自信がありますか



4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



成果と課題

運動やスポーツをすることが好き、体力に自信をもっている、運動やスポーツが大切と思っている割合が、全国・大阪市の割合より上回っている。一方で、運動やスポーツをすることが好きではない、得意ではないと答えている割合が多い。自分の体力に自信がなく、運動をすることが得意ではなくても、運動やスポーツを大切と考えている児童が多いが、運動やスポーツをすることが（やや）きらいと答える割合が平均よりも多いのが気になる。運動好きな子どもをさらに増やしていきたい。

今後の取組

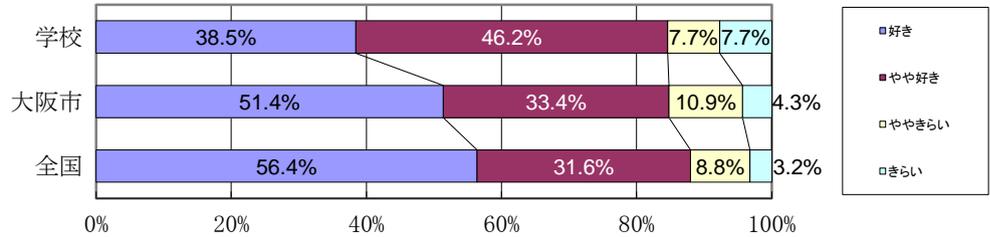
8割近くの児童が、運動やスポーツをすることが好きであるので、日常的に休み時間や放課後等の時間を活用して、学級全体に体を動かす遊びのよさを広げていきたい。学級集団としての遊びをみんなで考えて、計画的に取り組ませることで、運動に慣れ親しみ、運動を楽しむ子どもの育成をめざしたい。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

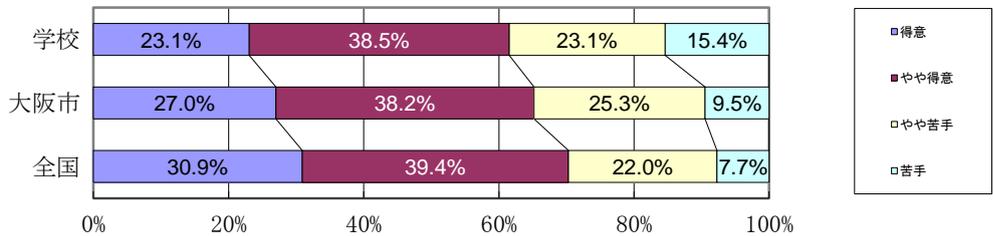
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



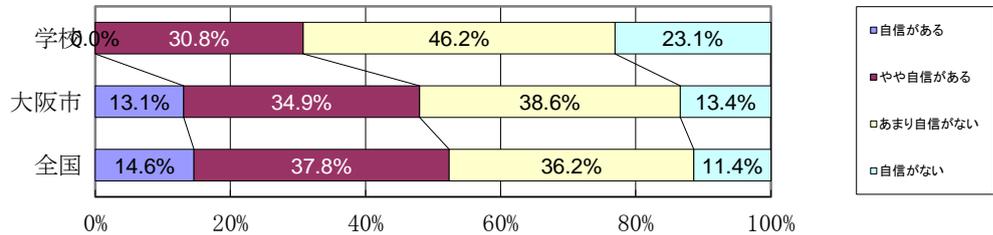
2

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは得意ですか



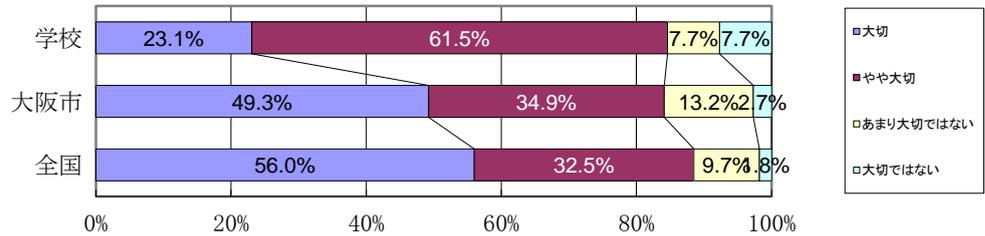
3

自分の体力に自信がありますか



4

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



成果と課題

自分の体力に自信があると答える児童がおらず、7割の児童が(あまり)自信がないと答えている。また、自分にとって、運動やスポーツが大切であるとする児童の割合が、全国や大阪市の割合の半分にも満たない。運動やスポーツを(やや)苦手と思っている児童が約4割を占めるが、運動やスポーツを(やや)きらいであると答えている児童は約15%であり、大阪市の割合とほぼ同じである。ただし、好きと答えている割合は13%少ない。

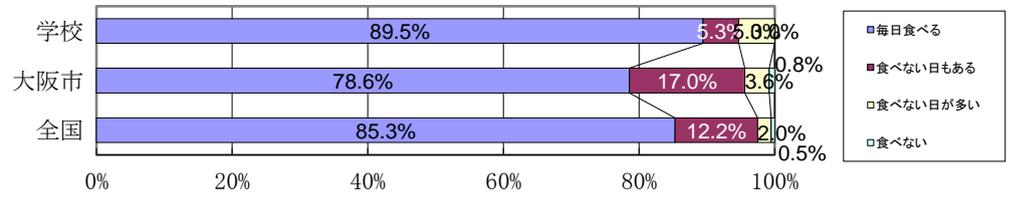
今後の取組

どの項目も、肯定的な回答をしている割合が全国平均、大阪市平均を下回っている。まず、体力に自信を持たせるために、なわとびなど得意な種目の運動に親しませるようにしていく。同時に、体育の時間等で体を動かす遊びを紹介することで、休み時間などでの活動へと発展させたり、学級集団としての遊びをみんなで考えて、計画的に取り組みせたりしていきたい。そして、まずは、運動やスポーツをする楽しさを味わわせるようにしていきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

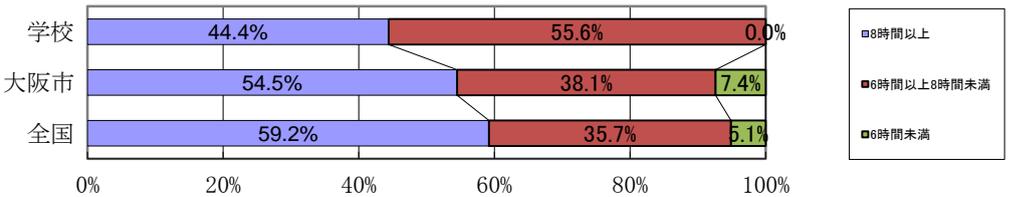
8
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



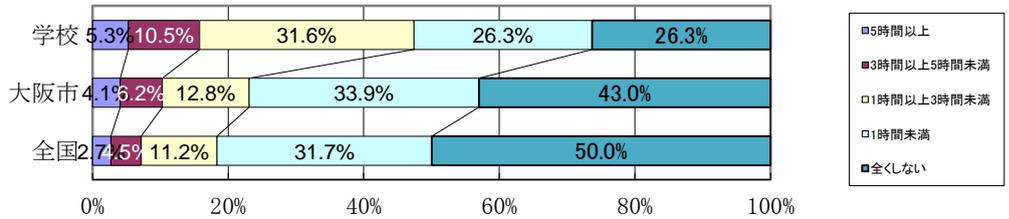
15
家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



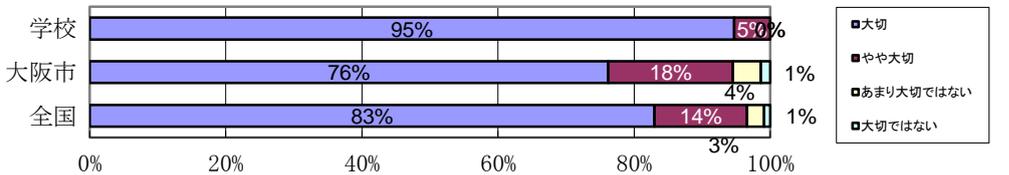
10
毎日どのくらいねていますか。



14
ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除きます)



19-3
あなたが健康であるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



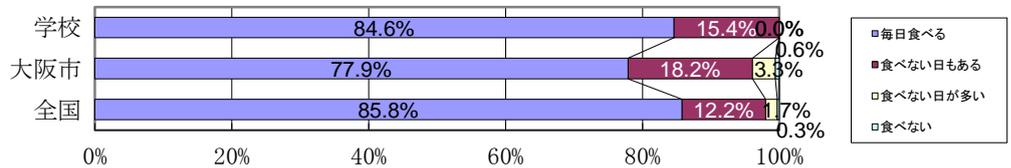
成果と課題
朝食を毎日食べている児童が多い。また、家の人から運動やスポーツを積極的に進められている子どもも多い。睡眠時間が6時間から8時間の割合が多いが、6時間未満の児童はいない。また、ほとんどの児童が、寝ることは大切だと考えている。携帯電話やスマートフォンの使用時間については、半数近くが1日に1時間以上であり、長時間使用している割合も多い。全くしない児童は、全国・大阪市平均と比べても少ない。

今後の取組
健康と睡眠との関係については、よく理解できているようなので、さらに具体的に就寝時刻を提示したり睡眠チェックカードを活用したりすることで、本人に自覚させたり家庭へも理解と協力を求めたりしていきたい。携帯やスマートフォンの使用については、区役所やPTAとの連携を密にして、啓発するとともにルールを決めての実践化をすすめていきたい。

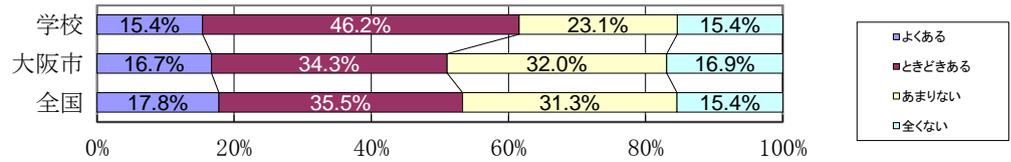
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

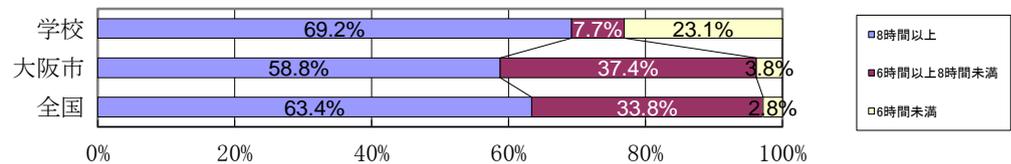
8	朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)
---	---------------------------



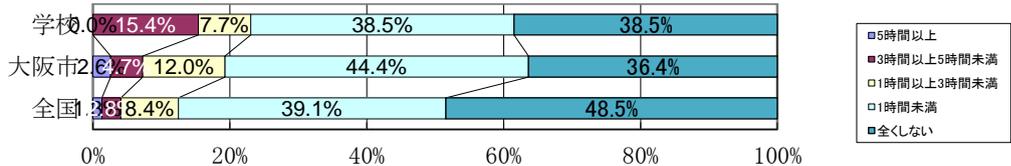
15	家の人から運動やスポーツを積極的にやることをすすめられますか
----	--------------------------------



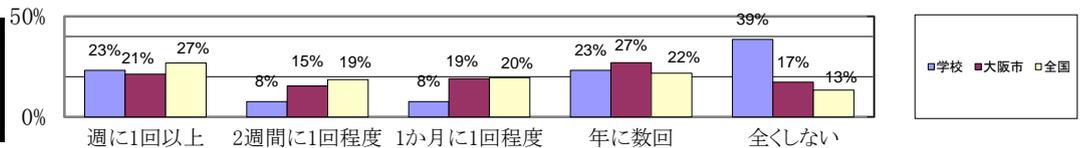
10	毎日どのくらい寝ていますか。
----	----------------



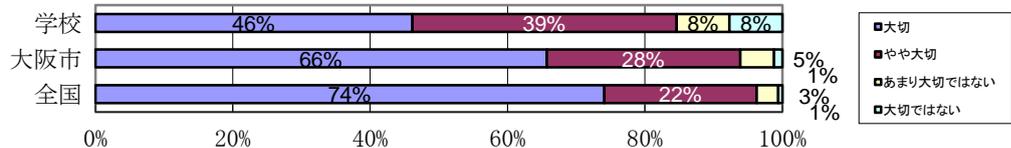
14	ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、けい帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネット
----	--



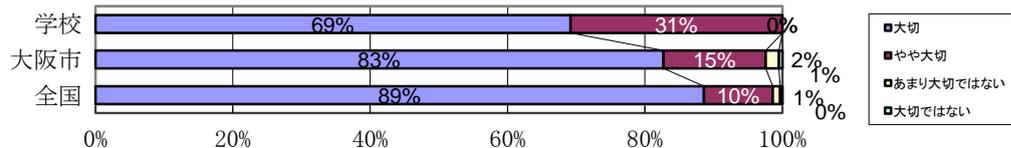
16	家の人といっしょに、運動やスポーツをどのくらいしますか。
----	------------------------------



19-1	あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。
------	---------------------------------------



19-3	あなたが健康でいるためによくなることはどのくらい大切だと考えていますか。
------	--------------------------------------



成果と課題

8時間以上寝ている児童も多いが、6時間未満の児童の割合が全国・大阪市平均と比べて非常に高い。また、健康と運動、健康と睡眠の関係については、まだまだ十分には認識できていないようである。特に、健康と運動については、16%の児童が(あまり)大切ではないと答えている。家の人といっしょに運動やスポーツを全くしない児童の割合が高く、携帯電話やスマートフォンで3時間以上5時間未満通話している児童の割合が多い。

今後の取組

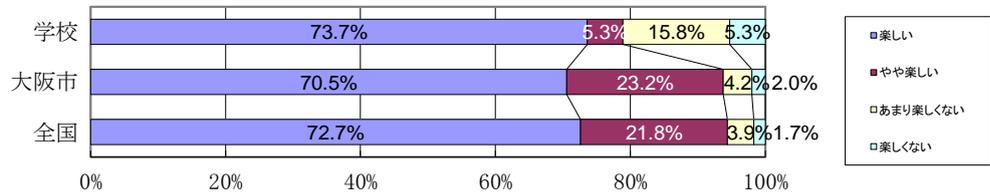
健康のためには、運動や睡眠が大切なことを意識できるように働きかけていきたい。家庭へも啓発することで、親子でスポーツ・運動に親しみ、睡眠や携帯電話の使用などの生活習慣の見直し、改善ができるように工夫していきたい。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

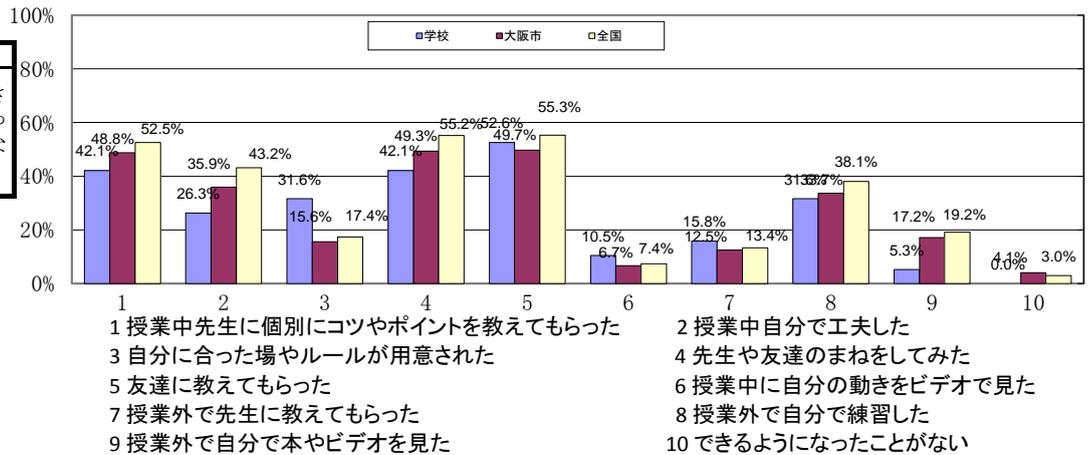
20

体育の授業は楽しいですか



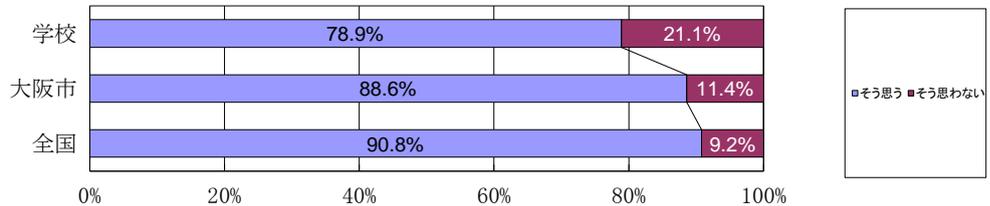
26

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。



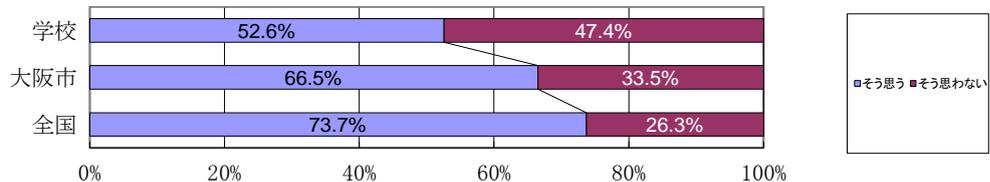
25-2

体育の授業であなたほどのように感じていますか。体育の授業では、たくさん動く。



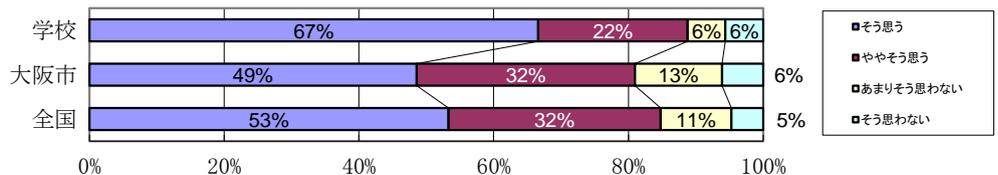
25-4

体育の授業であなたほどのように感じていますか。体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



27

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

体育の授業が楽しいと答えている児童は、全国・大阪市の平均をこえているが、(あまり)楽しくないと答えている児童も20%をこえ、大幅に平均を上回っている。授業内容が将来の役に立つと思っている児童の割合は平均に比べて高いが、授業で学んだことを授業以外の時に行ってみようと思わない児童が半数近くおり、授業でたくさん動いていると思っていない児童も、2割をこえている。できるようになったきっかけが、自分に合った場やルールが用意されたと答える割合が平均の倍近くあることから、授業の工夫が、できるきっかけになっていることが分かる。一方で、授業以外で自分で本やビデオを見ている割合は低い。

今後の取組

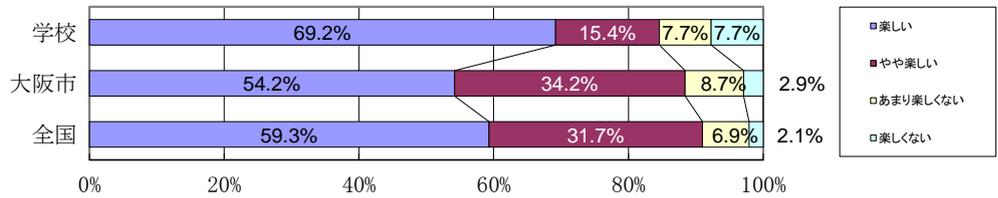
体育の授業での学習内容が重要であることは分かっているが、(あまり)楽しくはなく、授業中にたくさん動かず、授業以外でもやってみたくて思わない児童が2割程度いると思われる。「できなかったことができるようになった」という経験や「できた」という喜び、満足感、成就感をさらに味わえるように、日々の体育学習を工夫していきたい。また、友だちと教え合うことで、楽しく活動でき、できる事柄も増えるという体験をすることで、運動することの価値を感じ取ることができるようしていきたい。さらに運動に対して興味・関心が高まるように、様々な運動や体を使った遊びを紹介し、日常的に取り組めるように発展させていきたい。

体育の授業について（女子）

質問番号 質問事項

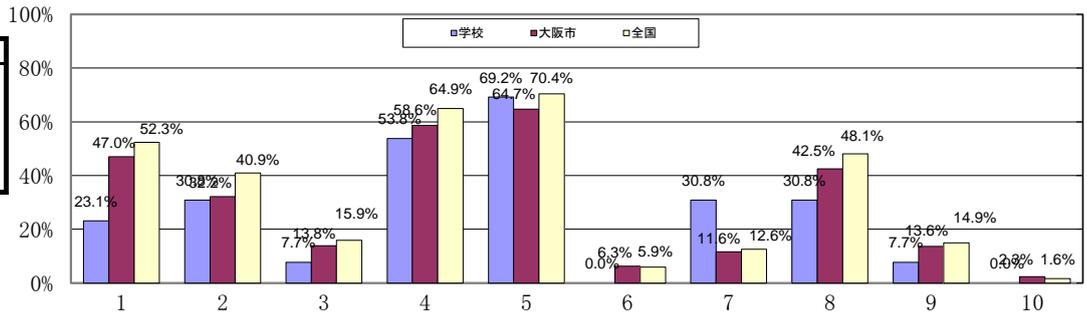
20

体育の授業は楽しいですか



26

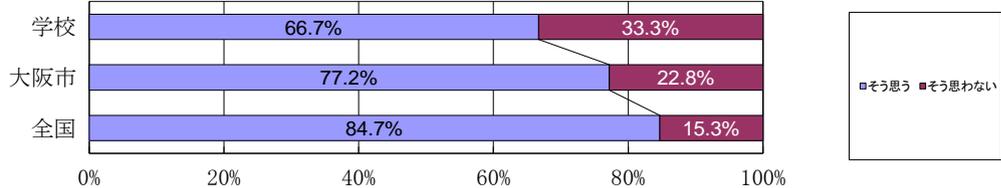
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

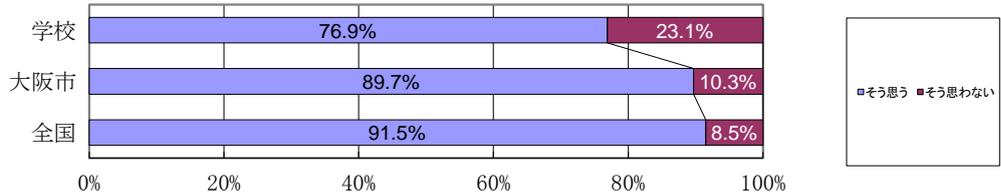
25-1

体育の授業であなたほどのように感じていますか。体育の授業では、技や動きができるようになる。



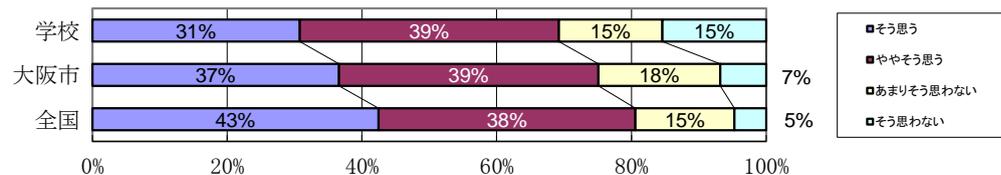
25-2

体育の授業であなたほどのように感じていますか。体育の授業では、たくさん動く。



27

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

男子と同様に、体育の授業が楽しいと答えている児童は、全国・大阪市の平均をこえているが、（あまり）楽しくないと答えている割合も平均を上回っている。授業内容が将来の役に立つと思っている児童の割合は3割であり、同じように3割の児童が、（あまり）そう思わないと答えている。授業でたくさん動いていると思っていない児童が、2割をこえており、体育の授業で技や動きができるようになるとは思わない児童も3分の1いる。できるようになったきっかけは、授業外で先生に教えてもらった割合が高く、授業中先生に教えてもらったや授業外で自分で練習した割合も低い。

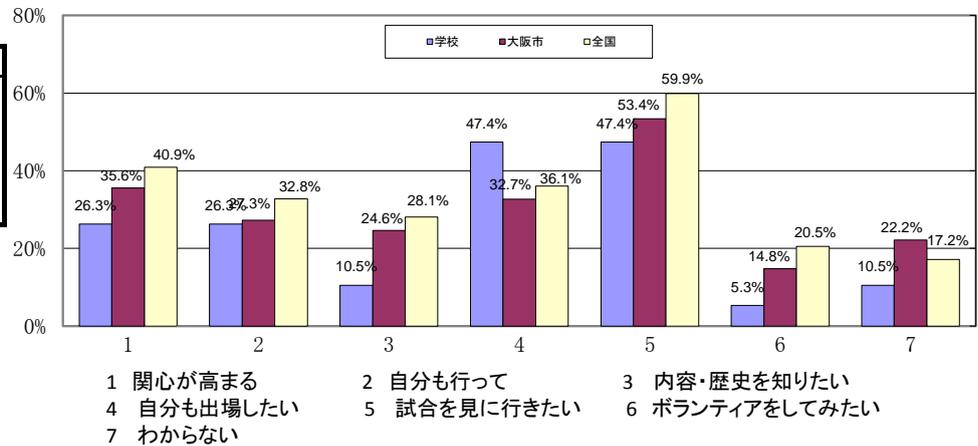
今後の取組

体育の授業が楽しいと答えている児童が、全国・大阪市の平均をこえているので、そうでない児童にも、「できる」ようになる経験を積み重ねることで、運動の楽しさが味わえるように授業を工夫していきたい。授業内容が将来の役に立つと思っている児童の割合は平均に比べて低いので、さらに運動に対して興味・関心が高まるように、様々な運動や体を使った遊びを紹介し、興味をもったものに取り組みるように発展させていきたい。

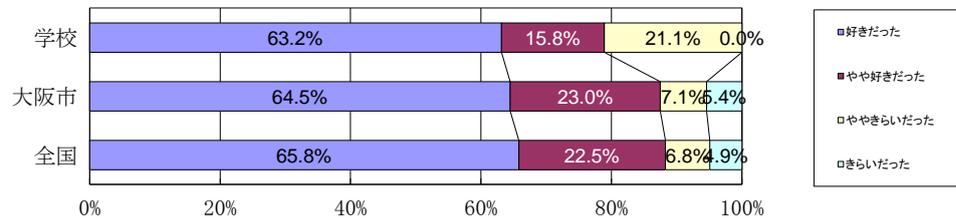
小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

29
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30
小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの関心はそれほど高くない。ボランティアをしてみたいと思っている児童は少ないが、自分も(選手で)出場したいと思っている児童が多いのは、地域でサッカーチームに入って活動していることが影響しているのではないと思われる。入学前に体を動かす遊びがややかいらだった児童が2割をこえている。現在でも、同様の傾向が見られるので、入学以前での運動経験の大切さを感じる。

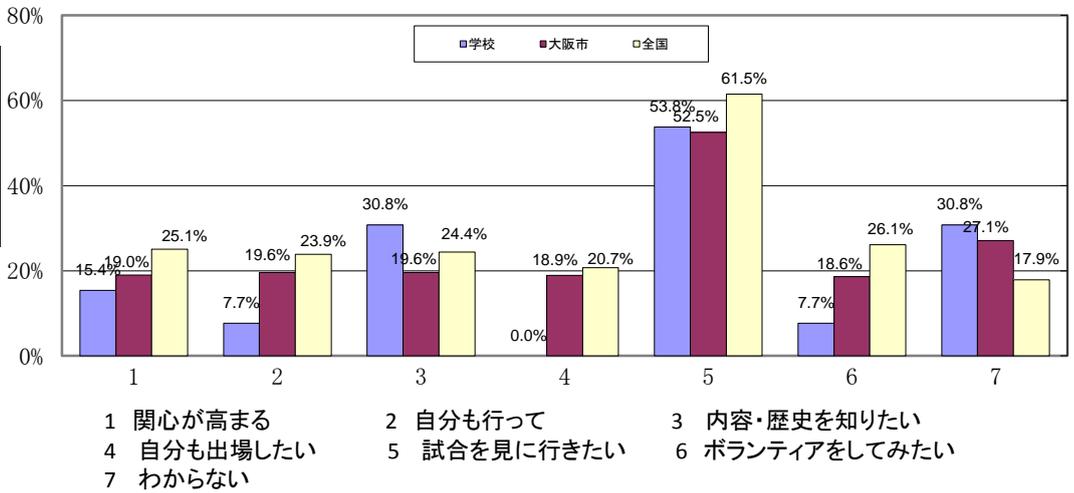
今後の取組

オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたいと思っている児童が少なく、関心の薄い児童もかなりいるので、それらに関する報道内容を話題にし、運動・スポーツにさらに親しみを持ち、興味をもった種目を自らやってみようとする意欲付けをはかっていきたい。運動好きな子どもを増やしていきたい。

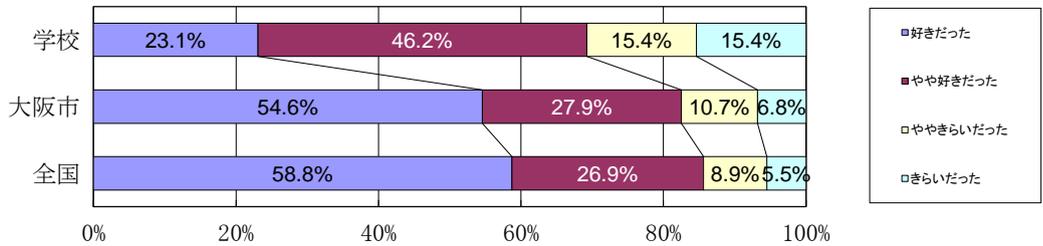
小学校入学前や現在のことについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

29
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30
小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



成果と課題
 オリンピックやパラリンピックに出場したいと思っている児童が少ないのが特徴的である。わからないと答えている児童が3割おり、内容・歴史を知りたいと思っている児童も、同じく3割いるので、今後、いろいろな情報を取り入れることで、さらに関心が高まってくると思われる。小学校入学前の体を動かす遊びについては、男子と同様の傾向が見られ、現在ではやや改善されてきてはいるが、入学前までにぜひ運動好きな子どもにしてほしいと感じる。

今後の取組
 オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたいと思っている児童も多いので、それらに関する報道内容を話題にし、運動・スポーツにさらに親しみを持ち、興味、関心、意欲を高めつつ、運動好きな子どもをさらに増やしていきたい。